

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	特別養護老人ホーム「蔵前」					所管	福祉部 高齢福祉課	
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] [小 柱] [施 策]				[事業開始]	平成 7 年度	
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区立特別養護老人ホーム条例及び同施行規則			[終了予定]	- 年度
	事業対象	介護保険法に基づく要介護認定を受けた方						
	事業目的	常時介護を必要とし、家庭で介護を受けることが困難な高齢者の入所施設を運営することで、常時の介護、その他日常生活に必要なサービスを提供し、高齢者の生活を支援することを目的とする。						
	事業内容	常時介護を必要とし、家庭で介護を受けることが困難な高齢者の入所施設の運営。 要介護度や心身の状態に応じたサービスを提供することで高齢者等の生活を支援する。 指定介護老人福祉施設(特養)の定員は50名。						
	委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容	特別養護老人ホーム蔵前の管理運営				
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	入所定員	人	50	50	50	50	
		成果指標	利用率	%	98.0	99.2	97.8	94.8
	利用者数		人	17,900	18,100	17,893	17,296	
	決算額 (単位:千円)				67,470	74,766	103,840	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,190	1,123	1,783	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			67,470	74,766	103,840	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			68,660	75,889	105,623	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			100	0	0			
一般財源(区負担額)			68,560	75,889	105,623			
前回評価から改善した事項	自動火災報知設備やボイラー等、老朽化した設備の更新を行った。自衛消防活動で消防署から毎年表彰される等、災害対応活動に力を入れた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	利用率は高水準で推移している。依然として特養の入所希望者は多く、必要性は高い。					
	効率性	3	老朽化に伴う施設保全を適切に行いながら、効率的な運営に努めている。					
	手段の適切性	3	指定管理者制度のもと、施設の管理運営は適切に行われている。					
	目的達成度	3	事業目的はおおむね達成されており、引き続きサービスの向上に取り組んでいく。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	維持 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
本事業は常時介護が必要な高齢者の生活を支える施設サービスとして必要性の高い事業であり、高齢化の進展に伴い今後も必要性が増していくことが予想される。今後については、高い利用率の維持に努めながら、建物の老朽化に伴う施設保全等に計画的に取り組んでいく。								